

| | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|-----|---|--------------|-----------------|----------------|------------|----------|----|----------|-----|
| 授業科目名 <英訳> | 医療倫理学各論 Practicum for Clinical Genetics | | | | 担当者所属・ 職名・氏名 | 医学研究科 教授 小杉 眞司 | | | | | |
| 配当 学年 | 専門職 | 単位数 | 2 | 開講年度・ 開講期 | 2018・ 後期集中 | 曜時限 | 金5・6:開講日注意 | 授業 形態 | 講義 | 使用 言語 | 日本語 |

[授業の概要・目的]

【基本情報】

授業日時：金曜5/6限（原則隔週）

教室：G棟3階演習室

レベル：応用

担当者：小杉眞司・和田敬仁・山田崇弘・竹之内沙弥香・山崎康仕（神戸大学）・浅井篤（東北大学）

【コースの概要】

医療技術の進展にともなって生じる臨床上的問題、臨床研究実施上の問題の検討を行う。「自ら問題を考え、解決の方策を探り、臨床で実践する能力」を身につけ、実践行動型の医療者となることを目標とする

[到達目標]

- 1)医療倫理学の基礎を理解する
 - ・医療倫理学の背景、医師患者関係の変容、患者の権利や医師の義務を理解する
- 2)倫理的問題の対処方法を習得する
 - ・問題の存在を認識し、考える枠組みを使って実際の問題を検討する
 - ・議論を通じて解決の道筋をたてる
 - ・臨床での実践方法を考える

[授業計画と内容]

【第1/2回】11/2<小杉>「倫理委員会・移植医療と倫理」倫理審査委員会の歴史、現状、法的根拠、組織。生体肝移植を中心とする倫理について実例に基づいて考える

【第3/4回】11/16<和田>「小児科医療と倫理」小児医療における代諾、重症障害新生児の治療、治療拒否と虐待などの問題点について考える

【第5/6回】12/7<山崎>「法と倫理」道徳・倫理・法の関係、自然法論と法実証主義などについて総合的に考える

【第7/8回】12/14<竹之内>「終末期医療」治療の中止、延命治療、安楽死、尊厳死、高齢者医療、DNRオーダー、事前指示、医学的無益性などについて考える

【第9/10回】1/18<山田>「産婦人科医療と倫理」産婦人科では、胚や胎児を対象とするために生じる倫理問題が存在する。これらの幅広い倫理的課題について考える

【第11/12回】2/1<浅井>「医療資源配分の問題」

【第13/14回】2/15<山田>「二次的（偶発的）所見の問題」網羅的なゲノム情報が用いられる時代となり常に直面する二次的（偶発的）所見の取り扱いについて学ぶ

【第15/16回】2/22<小杉>「自主研究発表」履修院生による自己テーマについての研究発表

医療倫理学各論(2)

[履修要件]

遺伝カウンセラーコース1回生必修科目
SPH選択科目
先修科目として「基礎医療倫理学」の履修を原則とする
人間健康科学系専攻学生の受講可否：要事前連絡

[成績評価の方法・観点及び達成度]

研究発表、議論への参加の積極性、レポート、出席等を総合的に判定します。
自主研究発表(最後に実施)：医療倫理に関するどのようなテーマでも良いので、自ら問題点を探し、それについて調べたり、検討した結果を発表し、全体でディスカッションします。割り当て時間(発表+ディスカッション)は、発表者の数に依存しますが、15-20分程度です。(原則としてパワーポイントを用いて発表し、ハンドアウト配布もお願いします)。他の専攻や研究科からの受講、聴講の場合も必須です。

[教科書]

配布するハンドアウトなど

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習(予習・復習)等]

適宜指示する

(その他(オフィスアワー等))

その他メッセージ
事例検討は、ビデオ、漫画を用いることがあります
講義日程、講師、内容については、多少の変更がある可能性があります
かならず、正式な受講届を提出すること。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。